



まちまるごと植物園 ～まちの植物情報

machimarugoto syokubutsuen



『盆栽づくりワークショップ』レポート♪

10/25（土）、牧野公園で盆栽づくりワークショップを開催しました♪こちらは、まちまるごと植物園事業の一環として、みなさんにいろんなジャンルの植物を楽しんで貰いたいという企画です！10/25に開催した第1弾と、次の記事でお知らせする第2弾では、日本の伝統文化にスポットをあてています^^！

さて、今回は8名の参加者さんと「黒松の寄せ植え盆栽」にチャレンジしました！和やかな雰囲気の中、先生が分かりやすく教えてくれながら、また、いろんな盆栽うんちくにも聞き入りながらの、あっという間の2時間でした♪みなさんそれぞれ味のある自分だけの一鉢を作られていましたね！これからゆっくり愛情と時間をかけて育てていきましょう！縁起物の松なので、お正月にはぜひ一等地に飾ってあげてくださいね^^♪



～まちまるごと植物園・植物を楽しむワークショップ第2弾～

『バイカオウレンの盆景ワークショップ』開催♪

まちまるごと植物園では、植物を楽しむワークショップ第2弾として『バイカオウレンの盆景ワークショップ』を開催します！盆景って何！？という方も多いのではないかと思います。こちら盆栽と同じように、鉢の中に小さな自然の景色を作り出す日本の伝統的な芸術です♪盆栽は基本的に土と植物（ときどき苔）だけなのに対して、盆景は土・植物・苔はもちろん、ほかの小物も用いたりして表現するもの^^この季節のお花・バイカオウレンを使った、自分のとっておきの盆景づくりにチャレンジしてみてくださいね！！みなさんご参加、心よりお待ちしております☆

- ☆日 時：1月17日（土）10:00～12:00
- ☆集合場所：牧野公園・花見棟
- ☆費 用：5,000円
- ☆定 員：12名
(定員を超える場合は佐川町民の方を優先します)
- ☆準備物：エプロン、飲み物
- ☆講師：福川直人さん
(元牧野植物園・伝統園芸植物担当)

- ☆申込締切：1月9日（金）
- ☆申 込 先：まちづくり推進課 ☎0889-22-7740

今回使用する鉢は6号(18cm)ほどの浅鉢です。味のあるおしゃれな盆景づくりにチャレンジしてみてくださいね♪



☆ 2025年もボタニカルニュースをご覧下さりありがとうございました♪来年も素敵な一年になりますように(^^)ノ

12月のお花ピックアップ♪

タイキンギク(堆金菊)花：11～12月頃
キク科キオン属。高知の海岸の崖などに生える多年草。黄色い花が盛り上がり咲く様子をお金が積み重なることに例えた、縁起のいい名前です！冬に咲くので、牧野博士が名付けた「雪見菊」という別名もありますよ☆



～高吾北消防本部からのお知らせ～

☎ 高吾北消防本部(署) 電話 0889-26-2111

正しい知識でリチウムイオン電池を安全に使用しましょう

▼リチウムイオン電池搭載製品の気を付けるポイント▼



①衝撃を与えない

リチウムイオンバッテリーは外部からの衝撃が加わることで、発煙や発火につながります。バッテリー製品は小型のものも多く、手をすべらせて落下させたり、ポケットに入れたまま座って体の下敷きにしたりなどして事故となることがあります。外部からの衝撃が加わることを防ぐよう注意しましょう。

②リコール対象製品は使用を中止する（不具合が生じていなくても）

リコール対象製品をお持ちの場合は、不具合が生じていなくても使用を中止し、販売店や製造・輸入業者に連絡をしてください。

③非純正品のバッテリーの取扱いに注意する

インターネットで購入したリチウムイオン電池搭載製品の事故が多く発生しています。お使いの製品にリチウムイオン電池が使用されているか取扱説明書などで確認する、または販売店、メーカーに確認してください。機器本体とバッテリーの組み合わせによっては事故に至るおそれがあるため、純正品の使用が推奨されます。

④一般ごみなどと一緒に捨てない

一般ごみなどと一緒に廃棄されると、ごみ収集車で圧縮されることで火災につながって、ごみ収集車の破損、付近の住宅への延焼や、清掃局員の方たちのケガ、焼却施設の火災の原因となることから絶対にやめましょう。

※不燃ごみなどで、ごみステーションへ出さないようにしてください。

※高吾北清掃センターへ直接持ち込んでください。回収ボックスが用意されています。



「リチウムイオン電池は身近にあり、とても便利なものですが、火災のリスクも潜んでいます。使用には十分気を付け、町民の皆様の身の安全を守ってください。」



——ところニュース——＜北海道 北見市＞

第16回 JAところ収穫“菜”

10月25日、常呂町百年広場でJAところが「収穫“菜”」を開催しました。

JAところが日ごろの感謝の想いを込めて行われるこのイベントでは、新鮮な野菜などが販売され、買い求める来場者で長蛇の列ができるなど賑わいました。

また、ところピンクにんにくが入ったポトフやビーツカレーなど地元の食材をふんだんに使った料理も並び、常呂の秋の実りを堪能する来場者の姿で賑わいました。

